

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

<b>学校通信</b> <b>ひがしやま</b> 第46号	発行日 令和6年9月12日(木)
	発行者 別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

○県立歴史博物館（出前講座）へのお礼の手紙です。



埴輪づくり(8/28)で、楽しい時間を過ごせたことに感謝の気持ちを込めて、小学生が作成をしました。是非、ご家族で宇佐市にある県立歴史博物館に足を運んでみてください。

★★

○「ぬたくり遊び」の様子です。(9/9)



このカラフルな活動の「ねらい」は①段ボールや大きな紙に、体ごと使って、絵の具を自由に使うことで、発散する。②手足、体に絵の具をつけて、感触を楽しむ。③「のっぽ筆」で自由に描く中で、お互いの描き方の違いや混ぜて違った色になることに気づくことなどです。

汚れてもよいというのはもちろんですが、大胆な色使い、他の人のやり方、考え方まで気づきがおよんで、みんなで協力して何かを作り出す経験は、普段の生活ではなかなかできません。運動会練習中の小学生が興味深げ(できれば自分も参加したそう)に通っていました。幼稚園の先生に聞いたところ「ぬたくり」とは「ぬりたくり」の意味だそうです。